



旅人（バックパッカー）が書き、旅人が読む、  
旅人のための旅ライフフリーハーバーマガジン

# Broall

Vol.16

Photo(C) 鈴木モト



# Khaosan Tokyo Guest House

<http://www.khaosan-tokyo.com/ja/>

日本で海外の気分を楽しめる!

カオサン東京ゲストハウスは、東京、京都、福岡、別府に計8つの店舗を展開しています。  
国際交流をしたい! 安く快適に泊まりたい! 楽しくにぎやかに滞在したい方!  
観光、就職活動、一人旅等、あらゆるお客様に満足していただける宿泊施設です。



**TOKYO**

**NINJA**

1泊/2200円~

**ORIGINAL**

1泊/2000円~

**SAMURAI**

1泊/2500円~

**ANNEX & SMILE**

1泊/2000円~

**KABUKI**

1泊/3000円~

**KYOTO**

1泊/2000円~

**BEPPU**

1泊/2000円~

**FUKUOKA**

1泊/2400円~

# THIS IS YOUR BACKPACKER LIFE.

旅人の数だけ違った  
スタイルがあっという。

これはあなたのバックパッカーライフです。

バックパッカーで旅をするって特別なことですか？あなたは旅バカですか？  
もしアナタがクローゼットの中にあるバックパックに想いを馳せるなら「旅バカ」です。  
苦楽を共にしてきた数々の相棒を捨てられずにいるなら、間違いなく「旅バカ」です。

残念なことにそれは **不治の病** です。一度目は衝撃の印度  
2度目はうまくやれるナマステ 3度目はもう病気です！

バックパッカーの大好物, 最北端, 最南端, 最西端, 最東端, 赤道, 南北回帰線,  
洞窟, 離島, そして僻地, 辺境, 秘境, 越境…

**越境！** バックパッカーの妖しい与太話に散りばめられた真実、  
そして名もなき旅人たちが残し受け継いできた、

「金の北米、女の南米、  
問題外のオセアニア」放浪 流浪 徘徊 ジプシー ノマド ボヘミアン etc...  
耐えてアフリカ、歴史のアジア、何も無いのがヨーロッパ、  
行った国の数はそんなに大切なのか？ 世界一周って何ですか？ あのガイドブックの裏話。

## J-Backpacker styleの系譜。

それは『何でも見てやろう』から始まった。結論のでないあの愛しきバックパッカー論の数々。  
「日本人宿/ガイドブック/節約ピンボの旅/夜のパトロール」カニ族全盛期から時は刻まれ、  
いまやバックパッカー3.0 爺ちゃんも両親も旅人の3世代目バックパッカー出現！  
スマホ, Wi-Fi, LCC, ナチュラルボーン…デジタルネイティブで、ソーシャル・ヒッピーな

こちら側の世界へようこそ。  
バックパッカー新聞、  
**創刊です。**

デジモンバックパッカーが闊歩する時代の到来。  
旅は変わっちゃまったのかい？  
旅の環境や手法が変わっても、やっぱり旅は人  
との出逢いだ、やっぱり人が断然オモシロイ。  
わたしたちは、そんなバックパッカー現役OB/OG、  
そしてこれからバックパックを担いで旅に  
出る仲間のベースキャンプとなりたい。

Coming soon. 『バックパッカー新聞』 Published By Japan Backpackers Link 発行人 編集長 向井通浩

<広告>



「モロッコのグランドキャニオン」と呼ばれるトドラ渓谷までのんびり徒歩30分で行ける日本人が経営するアットホームな宿。バルコニーからは一枚岩が眺められ、手前の畑にはアーモンドの木々が見え春にはサクらのような花が咲き花吹雪を楽しむことができる。

◆料金◆

宿泊代 70DH  
朝食 20DH  
夕食 50DH  
洗濯機使用料 10DH

◆設備◆

部屋数4室  
サロン  
大きめのバルコニー  
Wi-Fi  
シャワー室・トイレ共同

日本食もO・K

家庭的な  
小さな宿



◆住所・お問い合わせ◆

住所

Ait Ousalene Tizgui TINGHIR 45800 MARO

電話番号

+212(0)6 7040 4369

+212(0)6 5319 5219

モロッコ国内からは0653195219

E-MAIL

amande@hotmail.co.jp

詳しくはホームページで

<http://amandecheznoriko.web.fc2.com>



MOROCCO  
TODRA GORGE

## CONTENTS

---

- 旅人からの伝言 特集「モロッコ」
- モロッコWIKI
- モロッコTIPS
- 旅人からの写真で見る伝言
- 旅先の変な日本語
- Brali Biz「旅」×「ビジネス」橋本博司
- エッセイ「旅トキドキ・・・」
- テーマ「ふたりたび」
- 二人旅のススメ
- 新しい旅価値観の発見
- 一本の糸で世界をつなぐチャリの旅
- 自炊派の手料理「鶏肉のオレンジソースがけ」
- エッセイたびたべ
- アジア漂流日記
- 作者・情報提供者一覧
- 編集後記
- 次号予告
- 記事募集



# 旅人からの伝言 モロッコ

Photo(C) マルシェノスノス



アフリカ大陸の陸路の玄関口であり、地中海の玄関口でもあるモロッコ。

そして世界三大ウザい国の一つという不名誉な冠がつくモロッコ。

旅人目線でモロッコを覗いてみよう！



# ウィキ予習

## ✓ あらまし

モロッコ王国（モロッコおうこく）、通称モロッコは、北アフリカ北西部のマグリブに位置する立憲君主制国家。東にアルジェリアと、南にサハラ・アラブ民主共和国（西サハラ）と、北にスペインの飛び地セウタ、メリリヤに接し、西は大西洋に、北は地中海に面している。首都はラバト。

正式名称はアラビア語で、Al-Mamlaka al-Maghribiya：アル＝マムラカ・アル＝マグリビヤ。通称、al-Maghrib: アル・マグリブ。「日の没する地の王国」の意。

## ✓ 人口

31,993,000 人 (38 位)

## ✓ 面積

446,550km<sup>2</sup> (56 位)

## ✓ 公用語

アラビア語、ベルベル語

## ✓ 主要都市

人口 10 万人以上の都市が 15 ある。都市人口率は 55.5% と低く都市化は進んでいない。気候が穏やかであることを反映している。

■カサブランカ - 人口 367 万人 (1994 年)。最大の都市。映画で有名

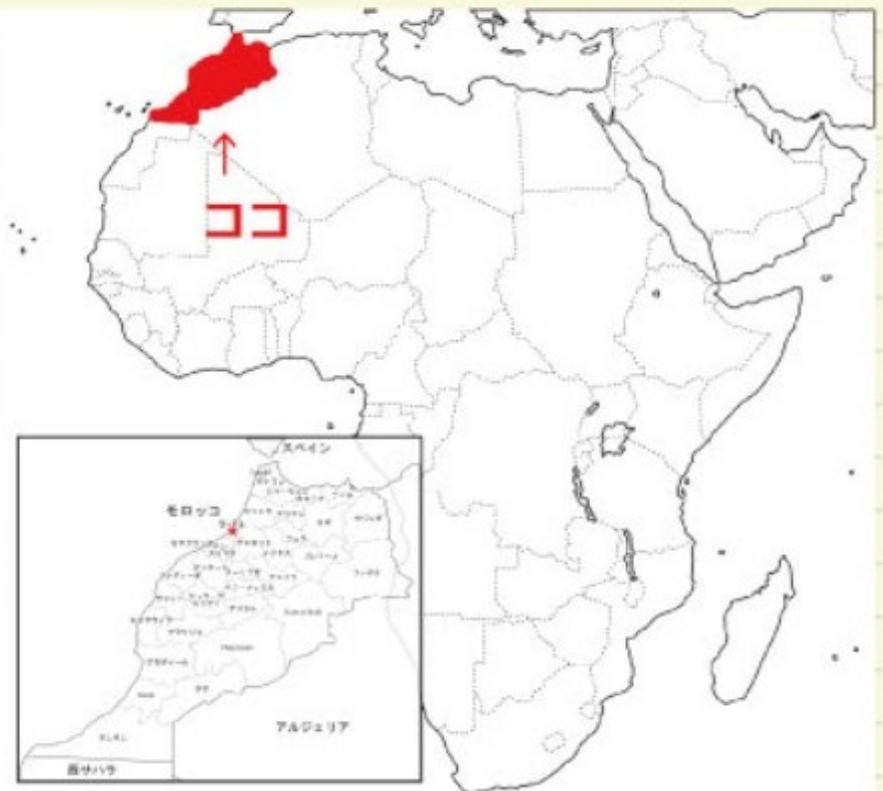
■ラバト - 首都。人口 120 万人 (2005 年)。

■マラケシュ - 人口 66 万人。第 2 の都市。観光がさかん

■フェス - 人口 50 万人。第 3 の都市。迷宮のような市街地が有名

■タンジェ - 人口 67 万人。ジブラルタル海峡に面した国際都市

「日出づる国」日本とは真逆やな！



見どころ満載やろ・・・

サハラ砂漠っていうと敷居が高そうやけど  
モロッコの西サハラなら意外と軽い気持ちで  
フラッと行けるのもモロッコのええところや。



# ウィキ予習



## 経済

IMFの統計によると、2010年のモロッコのGDPは917億ドルであり、日本の福島県とほぼ同じ経済規模である。一人当たりのGDPも3,000ドルを超えており、アフリカでは比較的豊かな国でありアジアなどの新興国とほぼ同じレベルである。埋蔵量世界1位のリン鉱石を中心とする鉱業と、生産量世界第6位のオリーブ栽培などの農業が経済に貢献している。大西洋岸は漁場として優れており日本にもタコなどが輸出されている。観光資源も豊かである（観光収入は22億ドルに上る）。その他ヨーロッパ連合諸国に出稼ぎ、移住したモロッコ人による送金も外貨収入源となっている。

日本との貿易では、輸出がタコ (61.1%)、モンゴウイカ (7.3%)、衣類 (5.1%) の順。

**ダントツたこやがな！**



## 民族

歴史的に、条件の良い平野部の土地を中心にアラブ人が暮らし、アトラス山脈の住民の大半がベルベル人である。



## 宗教

1961年にイスラム教が国教となっており、イスラム教スンニ派が99%を占める。キリスト教とユダヤ教も禁止されてはいない。



## 食文化 **食い倒れるがな・・・**

モロッコ料理は長らく世界で最も多様性に富んだ料理の一つと見なされてきた。これは数世紀に及ぶモロッコと外部世界の相互作用の結果である。モロッコ料理はベルベル、スペイン、コルシカ、ポルトガル、ムーア、中東、地中海、アフリカの各料理の混合である。モロッコ料理は土着のベルベル料理、スペインから追放されたモリスコがもたらしたアラブ・アンダルシア料理、トルコ人によってもたらされたトルコ料理、アラブ人がもたらした中東料理の影響を受けており、ユダヤ料理の影響も同等である。

香辛料はモロッコ料理に広く使われる。香辛料は数千年来モロッコに輸入され続けたが、ティリウニのサフラン、メクネスのミントとオリーブ、フェスのオレンジとレモンなどの多くの材料は自生のものである。モロッコで最も一般的に食される赤味の肉は牛肉であり、国産の羊肉は好まれるが相対的に高価である。主なモロッコ料理としてはクスクス、タジン、ハリーラなどが挙げられる。アツツアイと呼ばれるミント緑茶に大量の砂糖を加えて飲む習慣がある。

**イスラム圏でも現在の中東と比較すると安全やから  
イスラム文化に触れるにはもってこいな国やで。  
食べ物旨いし、雑貨なんかも独特のカワイイ  
デザインやさかいな。**



# 旅人からの伝言 Tips



TwitterなどのSNSでお題を投げかけ、お返事を集めて情報を並べました。  
気になる Tips をチェックしてくださいね。

美味かった、ビックリした、ご飯、スイーツなど教えてください。



@viatortaka: マラケシュの屋台で食べたヤギののうみそとか  
<http://takahirosuzuki.com/2012/0205230541>



Photo(C) 鈴木モト



@madoyan148: スークのオレンジジュースとクスクスが激安激うまです！！  
私が行ったのはカサブランカのスークです！あとはワルザザードはいけなかったんですが、絶対にいつか行ってみたい場所です！！



@sambo\_anm: モロッコといえば屋台のカタツムリのスープですね。まずかったっす、スープはちょっと苦くて薬っぽくて、味はヌルッとあの感触です。屋台には殻がやま積みになってます。パワーでるらしいですよ。



Photo(C) 鈴木モト



# 旅人からの伝言 Tips



トラブルなどに遭遇した体験などありましたら教えてください。



@sambo\_anm: モーリタニアに抜ける途中西サハラでの夜行バスで全機材盗まれました。

それと <http://samboanm.naganoblog.jp/e771343.html>

はずせないスポット、面白いスポット、レアなスポットって？



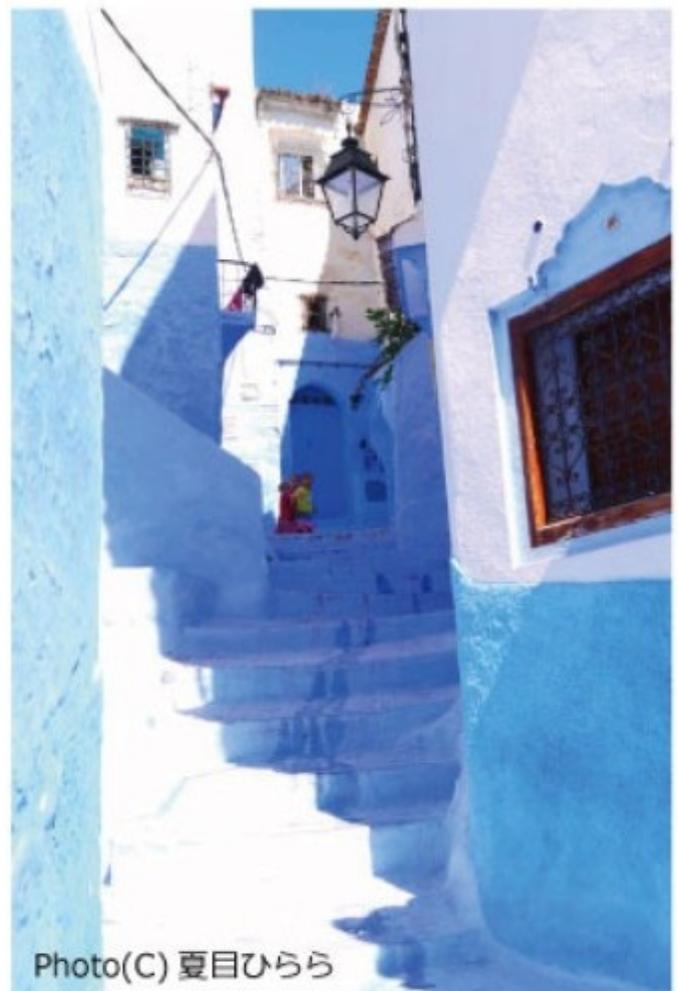
@cafebaghdad: マラケシュから谷ぞいに車で一時間の村 Ourika。川沿いのレストランで食べる炭火のタジンが最高



@viatortaka: 有名ですが青で彩られる街シェフシャウエンですね  
<http://takahirosuzuki.com/2011/1230105629>



@marchenosnos: マラケシュのスークの奥の職人食堂が美味しいです。行くべき。



Photo(C) 夏目ひらら



# 旅人からの写真で見る伝言



Photo(C) マルシェノスノス



Photo(C) マルシェノスノス



# 旅人からの写真で見る伝言



Photo(C) 夏目ひらら



Photo(C) 夏目ひらら



# 旅人からの写真で見る伝言



Photo(C) 鈴木モト



Photo(C) 鈴木モト



# 旅人からの写真で見る伝言



Photo(C) 鈴木モト



Photo(C) 鈴木モト

日本語

# 変な

旅先の

海外でみかける変な日本語。看板やメニューをはじめ、商品名やTシャツ、チラシに至るまで。笑わせてくれたり、困惑させられたり。そんな変な日本語をTwitterなどで募集してみました。



テロリストの犯行声  
明なみですね。  
タイ Photo By  
Hiro

変



「海かちぼま贈り物です。」  
意味はわからないんですが、もう日本語使ってれば価値が上がってことなんでしょうね。実際に日本語を使うと売れ行きがいいのか知りたいですね。これからは手書きの日本語できる人がアジアで重宝されることになるかも ^^

Photo by Hiro

変



いいんですよいいんですよ、間違っても。ちゃんと伝わってきます。

タイ Photo By Hiro



# Brali Biz

## 「旅」×「ビジネス」

旅を旅だけで終わらせない。そんな考えの人も少なくはないはず。

旅を何かに活かしたい。

仕事をしながら旅をし続けたい。旅に関わる仕事をしたい。旅人を相手にする仕事をしたい。

実践している人たちがいます。

実践者達へストレートにインタビューを試み、「旅」×「ビジネス」を検証し連載するコーナーです。

Brali Biz 「旅」×「ビジネス」

## 橋本博司



特定非営利活動法人HERO 代表理事

東京都八王子市出身、35歳O型、人生のテーマは『旅するように働く』

大学時代にカンボジアに行き、そこで子どもたちに勉強を教えてほしいとせがまれた経験からカンボジアに学校を作ることを決意する。23歳で飲食店を経営(現在2店舗)。その後、1年間の世界一周新婚旅行に旅立つ。新卒採用の仕事を経て、2011年2月NPO法人HEROを立ち上げカンボジアに子どもたちが無料で通える学校を現在までに5ヶ所建設。現在はカンボジアで学校建設の他に貧困対策事業としてマイクロファイナンスならぬ、マイクロ養豚事業を開始。

<http://npo-hero.org/>

スタディツアー募集ページ

[http://www.facebook.com/l.php?u=http%3A%2F%2Fpsfnpj2012.jimdo.com%2F&h=\\_AQHpcqbw](http://www.facebook.com/l.php?u=http%3A%2F%2Fpsfnpj2012.jimdo.com%2F&h=_AQHpcqbw)

**Q** カンボジアに入って学校建設をメインに手がけられてから2年半。5箇所を手がけてますよね。カンボジアで関わってる生活者の実情ってどんな感じですか？

Brali (Vol.15) (<http://brali.net/>) にちょっと書いてますが、去年、学校に通えない子供達が出てきてるってことで調べたら、運営してる学校で登録してる子供の人数と通ってる人数が違う。だいたい15%~20%弱くらいの子供たちが通ってないのです。公立の学校なので授業料って無料なんですよ。でも来れないってなんでかなって、来てない家庭をピックアップして話を聞きに行くと、突き詰めると貧困なんですよね。

全ての家庭に当てはまるわけではないんですけど7、8割くらいは、一日1ドル以下の生活をしていて、月収でいうと30ドル台。その家庭の子供は学校に通えないんです。でも月収60ドル、一日2ドルあると通えるんですよ。一日1ドルの差で通える通えないがパッと別れてし

まう。貯金も2ドルになるとできるんですけど、1ドルだと借金しかないんですね。

通ってない子供は働いてるのか？ってよく言われますけど、田舎は大人でも仕事もないのに子供に仕事があるわけなくて、食べられる葉っぱを探したり魚を獲ったりとか、自給自足をして何とか生きてる状態。

うちの団体は「子供たちに可能性を与える」というのを理念としているのに、学校に通えない、可能性もない。団体としては、貧困が原因だったらそれも解決しようと。

最初はマイクロファイナンスをやってみようかなと思ってたんで、マイクロファイナンスをやっている団体の人に話を聞いたら「まあお金あげてもムリだ（解決しない）よね」という答えが返ってきてしまいました。結局金利をとられて苦しんでる家庭もあるみたいなんで。お金を渡してもどんな商売しようというアイデアが生まれませんよね。

本当に貧しい家があって、あまりにも苦しくて20ドルを銀行から借りて、「何に使ったんですか？」って聞いたら「まず米を買った。久しぶりに米を食った」と。でも食べ物だけだと20ドル返せなくなるんで「ひよこを五羽飼った方がいい」と。勝手にエサ食べて大きくなって3ヶ月くらいで売れるので、そのニワトリを売れば20ドル返せる。だけど本当にヒヨコを放置状態なんです。そしたら大雨降って全部流されちゃって借金だけが残っちゃってどうしようもない。そんな話もある。

1年くらい前から付き合いある別の家は悲惨で。お父さんがアル中で村から追い出されちゃって、お母さんは病気で見るとヤバいだろうって状態。子供3人いるんですけど、ちっちゃい子ももう栄養失調でオナカが出てしまってる。そこはお母さんも働けないんで、毎月50ドル支援してようやくお母さんは薬飲んで子供たちは学校通っていい成績になったんです。

そうしたら追い出されたアル中のお父さんが戻ってきてしまって新たな火種になってるって言うんで、来月また見に行こうと思ってます。「お前働け」という話をしにですね。一軒一軒向き合うともう全部ドラマが詰まっているので。



**Q** 養豚ファイナンスってどんなビジネスモデルですか？

養豚の基本的なモデルは、お金を貸すんじゃなくてビジネスのパッケージを貸そうと。10万円を貸すのではなくて10万円分のビジネスをパッケージにしてそれごと貸す。あげるのではなくて貸し付け。現地農村部でできることで、農業を始め豚、牛、鶏、魚を調べて、養豚事業や養殖事業をやってる方にお話を聞いて豚にしたんです。市場としても伸びるだろうし参入障壁も高いので。

ビジネスモデルは、その貧困家庭の庭に豚が10匹飼える小屋を作って、水が必要なんで井戸も掘ってあげて、最初の子豚代とそれが売れるまでのエサ代を貸付します。だいたい日本円で1

0万円くらい。それを2年間かけてその家庭と一緒に豚を育てて販売するというのを行って、販売した売上のうちの半分以上をウチがもらいます。最初の資金の回収ですね。2年で10万円返し終わる予定なので。2年の間にウチがその半分をとってもその家庭は月収30ドル以上のプラスになるので1日2ドルの生活になれる。2年たってお金返し終わったらウチの手を離れて収入はまた倍になります。しかも豚を育てるノウハウと豚小屋と井戸は残る。

ウチは金融業をやろうと思ってない、金利を取るつもりはないので、10万円最初に持ち出ししたら10万円そのまま返してもらいます。マネタイズ（収益化）するところというのは、必ずウチからエサを買って下さいというモデルで、ウチで仕入れたエサをプラス5%上乗せしてその家庭に卸す。これが5つくらい家庭だとまだマイナスなんですけど、損益分岐は7家庭。養豚と言っても最終的にはエサの卸業。家庭が増えれば増えるほどロット数が大きくなって安く仕入れて利幅も増えるという仕組み。



**Q** カンボジアにのめり込んだ理由は？

初めて20歳の時にカンボジアに行って、学生の中に3回位、ボランティアで2週間ちょっといたんです。

子供たちに接して困まれて、勉強教えてくれって言われたんですよ。なんでって聞いたら貧しくて学校行けないとか、戦争で学校が壊されちゃったっていうんで、簡単な算数とか英語を教えたんです。

将来なんかやりたいことあんのって聞いたら、みんなが「僕は医者になりたい」だとか「先生になりたい」って。なんでかって聞いたら「戦争で怪我した人がいるから治したい」とか、「学校の先生がみんな殺されちゃったから僕が先生になりたい」とか。ただその時に、この子供たちは学校行ってないので読み書き出来ませんし、計算出来ませんし、仕事につけない。自分のやりたい先生とか絶対なれない。一方自分を考えた時、当時大学生だったんですけど、夢とか無かったですよ、やりたい事とか。なんか情けなくなってしまって。目の前の子供たちは夢語ってるのに、それでもなれない。かたや自分はアルバイトしてお金貯めて海外に行ってる。

帰りの飛行機で手帳に、40歳までにカンボジアに学校を作るって書いたのがスタート。

就職活動の時に、カンボジアに40歳までに学校を作るため、理想の自分と現実の自分のギャップを書き出していったんです。何が足りないのか。英語も喋れないとか、お金が無いとか、仲間がないとか。その時にいっぱい出して一度にムリだから優先順位つけようと思ったんですよ。何が一番か考えた時に、経営の勉強をしようと思ったんです。

最初に入社した会社というのも起業家輩出機関とうたってる会社だったんですけど、結局経営の勉強するのは自分でやるしかないなって思って5ヶ月で辞めて。

現在2年半で5箇所学校建設しました。



**Q** カンボジアでの学校建設の仕事について教えてください。

実際に学校ができるまでのプロセスとしては、一番目は候補地を見つけなければなりません。最初は現地調査からで、まずは特定の地域をどこにするか。いま拠点をシェムリアップに置いているので、車で片道2時間以内のところのアクセスしやすい国道沿いの周辺。州の中にまた郡に分かれてて郡ごとに教育局があるので、その教育局の院長にアポ取って、その郡の中で学校が足りてるかどうか僕のヒヤリングから入ります。

そんなに老朽化してないとか足りてるとかって言われたら、隣の郡に行って話を聞いたら、数が何校足りてないとか、ここが老朽化してるからというのが出てくるので。そこで学校の名前と住所と校長先生と村の名前を全部控えさせてもらう。その中から現地に行って村に入って調査を行います。

候補地探しや調査は、基本は自分と現地の責任者で日本語ペラペラのカンボジア人サムと二人で。

パターンとしては全く学校が村に無いっていう場合と、学校はあるけど老朽化してしまって建て替える必要がある場合、子供たちが増え過ぎて教室が足りないっていう場合の3つに分かれます。

学校が無いという場合は村長さんと地元リーダーっているのでその人を呼んで話をします。学校がある場合はプラス校長先生と普通に働いてる先生も呼んでヒヤリングをかけます。

聞くのはその村全体の子供の数。できれば過去3年分の推移と世帯数。あとは校長先生の教育に対する思い。そこがないと建てた後ダメになるので。あと実際に建てる時には土地は無料で提供してもらうので、無料提供がOKかどうか。地元リーダーというのは大概地主さんなんです。

それで何箇所かの村に入って行って、子供の数とか優先順位をつけていく。

雨季の時の道路状況とかもかなり重要で、建設資材も運べないってこともあるので。建設資材は元々は相見積をとって、例えば市内にある建設業者とかに丸投げできるんですけどすごく高くなるんすよ。なので大工さんはお抱えと言うか毎回お願いしてる方がいるので、「毎回お願いするから値段下げてね」って普通よりたぶん2割以上安い金額で人件費抑えられてますし、建設のコンクリとかセメントとかも全て1軒1軒価格交渉して。イスとか勉強の机とかも生産地まで行って買い付けをしています。



**Q** 学校建設以外に何かされてますか？

学校だけだとなかなかマネタイズできないので、ウチの運営費の一部分は大学生のスタディツアーの参加費です。「学校建設を一緒にやりましょう！」と行っていて、だいたい年間100人位が来るようになってます。

飛行機代別で1週間とか8日間のプランで7万8000円を出してるんです。合計すると地球の歩き方ツアーとかHISのボランティアツアーより若干安い金額になります。初めての方向けで作って、最初はプノンペンに入って虐殺の歴史とか見学して、次は学校建設に移動してだいたい2日ないし3日間学校の建設を一緒に行き、もうひとつ既存の学校のイベントを組み込むので、春だと運動会を一緒に行き最後にアンコールワットに行き帰ってくるツアーです。

**Q** 活動するにあたって重要なことってなんですか？

大きく2つなんですけど、ひとつは現地パートナーですね。誰とやるのか。いまサムがいないと出来てないです。例えばお金を100万円ポンと預けても絶対裏切らない。時間守りますし。カンボジアを盛り上げていこうと、本人もゲストハウス経営とかしててまだ30歳でビジネス志向もあって、社会貢献とビジネス両方理解してくれてる上に日本語が話せて、遊びも全力でやってくれるような完璧なヤツなんですよね。長い付き合いで見た時にフィーリングとか一緒に合うやつじゃないと長続きしないと思ってます。

もうひとつは完全に僕自身の問題なんですけど、その国がワクワクするかどうか。バングラデシュもカンボジアも国全体が市場みたいじゃないですか。エネルギーに溢れてるっていうか、これから何とかしていこうっていう。自分もそういう勢いがあるところに身を置けば、上昇志向に乗れるかな。その国の空気とか国民性とか重要ですね。

**Q** 仕事のやりがいてなんですか？

寄付してくださる社長さん達は、一代で経営されてる方、成功されてる方で、成功している上にそのお金を寄付するよっていう心をもってる人達なので、人間的にも素晴らしい人達ばかりなんです。その人達と一緒にいられるだけでこんなに幸せって。

過去の経験もすごいですし、セミナーだったら大変な値段になるな一つてのが、独り占めでき

ます。なおかつそういう人達って全てに全力なので飲みに行ったらめっちゃくちゃ面白い。仕事をしてるからの付き合いじゃなくて、師匠みたいな感じの人達がたくさんいるので、集まってくる仲間も同じようなマインドを持っていて。

**Q** 新規開拓と営業はどうされてるんですか？

個人的に営業って好きじゃなくて、新規開拓はほとんどしてないですね。

例えば最近5箇所目にできた学校ってのは、自分がすごい尊敬している経営者の方がやっている、個人的にずっと勉強していた人間学、東洋哲学を学ぶ勉強会でプレゼンする機会をもらったので。必然的にそういうところにいるとそういう人達が集まっているので思いを伝えると協力したいって方が。営業目的で行ってるわけじゃなくて、自分で勉強したいなってつきあったら、共感してくださって徐々に広がってるっていう感じです。その社長さんも含めもう一人の社長さんも二回出してくださってます。

**Q** クロージング（契約締結）ってどうしてるんですか？

日本でこういう風に、ちょっと興味を持ってる方と話しをした場合のクロージングというのは「学校を作りましょう」の合意じゃなくって、まずは「来月ちょうどカンボジア行くんで予定合いませんか？」と。自分のクロージングの基本はカンボジアに行きましょうってところまでですね。カンボジアに来たらほぼ100%みなさんカンボジアが好きになるので。

あとはその社長の多少の好みとかあるので、カンボジア国内での予定をこちらで組み込んでアテンドして。社長さんによりますが一週間どーんで行ける方もいれば2日だけっていう方もいますね。

**Q** 寄付する社長はどこに引かれるか？

ひとりの仲の良い社長さんはストレートに言ってくださったんですけど、成功されてる方なので、けっこうお金は持っていると。けど「日本で使ってもつまらない」っていうんですね。

お金の使い道考えた時に、カンボジアの子の目の前で学校が出来て行って自分の名前が入って。どんなメリットって数字的なものではないんですけど。その出来ていくプロセスと一緒に楽しんでくれますし、出来た後のカンボジアとの繋がりに価値を感じてくださっていると思います。

ただ経営者の方ばかりなので、投資という概念はみなさん念頭にあります。ビジネスに投資するのもカンボジアの学校に投資するのも投資っていう考えなので。教育に投資するのが長い目で見れば一番リターンが大きいですからね。完成した学校で日本語教室を準備していたり、卒業生を雇用に繋げようとする動きも出て来ています。

ただ、一番は「カンボジアとの繋がりに投資する」という考えでみなさん寄付してくださっています。

あとは、企業ブランディングとして活用してもらってるので社名を書いたり、学校自体に命名してもらったり、それをホームページで宣伝したり。

他では社員研修に使いたいというので、今回の建設でも社員を入れて一緒になって建設して。木材の卸の会社で日本の木材を使って作ってるんですね。その会社が扱ってる杉やひのきを現地にコンテナで運んでるんですよ。通常の2倍近くお金かかってます。本当にすごいキレイな学校でいい匂いします。

毎年その学校で運動会とかイベントする時に社員も入れて自分たちが取り扱ってる商品でこういった学校が出来て子供たちがいるんだって事でマインドが変わってくるだろうと。

## Q カンボジアに対するスタンスとこれから

日本で考えてることは現地に行ったら当てはまらないってことなんですよ。ほんとに絶対違うんですよ。僕は現場を一番大事にしてるので、村にどんどん入って行ってその人達に話を聞いていかないと。

ただ日本で考えておかないとノーアイデアになってしまうので前もって考えることは必要ですけど。難しいのは現地の人に何が欲しいですかって聞いても返ってくるのがみんな違うんですよ。学校が欲しいだトイレが欲しいって言うんですけど、そりゃ欲しいっていうわなあって。でもそれをあげたからって、単に次も何かを欲しいって言うだけなんですよ。

うちの団体としての最初は学校づくりからやるんですけど、そっからなんか作って欲しいって言われても全部断ってるんですよ。それが必要だと思ったらどうやるかっていうのを一緒に考える部分はいいと思ってるんです。自分たちで問題解決できる人材を育てるのを基本にしているので、最終的にはうちが活動しなくて済む、カンボジアのことはカンボジア人が考えなきゃ駄目です。そのリーダーシッププログラムを作って行きたい。

結局学校の運営って考えた時にポイントは校長先生なんですよ。この校長先生の考え方や日々の言動行動によって学校の運営が左右される。例えば子供たちの通学率が変わってくるんですよ。うちじゃない他の団体で作った学校で、校長が真っ先に出稼ぎに行っちゃったんです。校長が行っちゃうと他の先生も行っちゃうんですよ。今は先生が戻って来たらしいですが、こないだまで村のおっちゃんが教えてたんですって。ほんと校長先生のやる気次第。ウチは校長先生の面談もしてるので、すごいやる気があって上昇志向の人ばかりです。するとやっぱり子供達も全然違います。

我々としてはまず研修できる人を育てようと思ってるんです。ファシリテーター（調整役、促進者）を育成して全国に飛ばすような。



Q 近い目標を教えてください。

来年（2014年）2月に学校を建てるのは、もう候補地も決まっているので今年の年末くらいから土台作りとか現地で行ってきます。来年6月くらいまでの間に3箇所は決まっているんですよ。ここはもう作っていただけますし、あとプラス2箇所も決まりそうなので。

直近の目標でいうと組織作り。ちょっとストレッチを自分自身にかけたいなと考えていて、年間5箇所はそんなに何もしなくても今のままでできてしまうので、この上を行きたいなと。なんで、年間10箇所作る体制にしよう。

その上で次の国の展開はバングラディッシュを考えてます。バングラも面白そうだし面白いやつがいてパートナーにも恵まれたので。

バングラディッシュでは医療面、診療所で行こうと。毎年周辺国ベトナム・ラオス・マレーシア・ミャンマー・タイには行くようにしていて、そこでNPOの活動をしている方や会社経営されている日本の方と繋がりを作っているところなんです。

カンボジア国内では学校建設プラス収益の柱というか、現地法人を作ってその種まきをしたいです。一つは人材系、日本の大学生や現地の農村部の子供たちもいるので教育と採用支援で収益を産み出せるものと思っています。リソース（人的資源）があるので日本の大学生を現地の日系企業に就職紹介するとかはすぐにできますし、農村部で優秀な子を職業訓練とか研修受けさせて派遣するとかです。

今日の午前中打合せしたのは企業向け研修について。日本国内企業の社員がカンボジアを使った研修ですね。例えばスタディツアーに行った学生さんって変わるんですね。簡単に言うと感謝の心が出てくるんです。道路があるとか当たり前なのに感謝するようになりますし、電気も水道も無いところで笑顔で生活している子供たちを見ていると自分たちもやる気になって活動的になるんで、それをパッケージ化して今のやる気のない生き生きしてない若手社員をカンボジアに入れて肉食系実地試用研修を考えてます。

あとカンボジアの事業進出の相談とか日本の企業から入ってきてるので、法人設立ですとか事業進出支援ですね。

相場だとだいたい45万から安くて25万で現地の法人設立代行ってあるんですけど、法人設立代行とか事業進出相談とかほぼ原価でやろうと思ってるんです。ウチだったらたぶん10万くらいでできるんですね。その代わりに立ち上げた会社の売上の一部をNPOに寄付して下さいと。その会社にとっては社会貢献活動にもなるんで。株式会社と言っても、NPOと連動するカタチで

すね。

読者の方へメッセージをお願いします。

ビジネスにしろ社会貢献にしろ、カンボジアは魅力的な国の一つだと思います。今までのNGOのように社会貢献だけでは色気がないですし、最近はビジネスだけでカンボジアのことを考えない弊じゃない方も増えてきています。

是非とも両面を充足できるような方が増えて来て欲しいです。日本で考えていても何も始まらないので、興味ある方は是非一緒にカンボジアに行きましょう！社会貢献とビジネスの両面からカンボジアをご案内いたします。

ありがとうございました。

【聞き手クリハラノブユキの戯言】

今年だったか「やらない善より、やる偽善」なんて言葉がアニメから出て賛否を呼んだが、橋本さんは「やる善」を地で行くタイプ。かと言って冗談も言わないタイプではない。またしっかりビジネスも見据えつつ本人も周りも楽しみながらやっているのがいい。

## エッセイ「旅トキドキ・・・」

---



鈴木モト

男性 静岡県出身。高校時代、陸上でインターハイ出場。ベストタイム10秒84（100M）  
美容師免許、管理美容師免許取得。

MIXIコミュニティ、「鈴木が書く世界一周旅行記が好きだ」2800人突破。

[http://mixi.jp/view\\_community.pl?id=3502328](http://mixi.jp/view_community.pl?id=3502328)

現在、一眼レフカメラ片手に世界を放浪中。

ブログ「地球の迷い方。～世界放浪編～」

<http://ameblo.jp/roundtheworld200130/>

シリーズ「働いている人」の最終回です。



インド、スピティのサングラ村。

荷物を運ぶ青年。

頑張って!!



インド、デリー。

青年がカットしてる筍、青汁+サトウキビ味の汁がメッチャでできます。

機械で絞ってコップ一杯8円ほど。ビタミン補給としてよく飲んでました。

ちなみにシャッタースピードを遅くてし、動いているものをわざとブレさせる術を習得。  
カメラのシャッタースピード機能を理解して、習得して使うのに2年かかった。  
遅い！ 笑



インド、サングラ村。  
美容院なんてハイカラなものは、この村にはございません。  
同じ鏡の中に2人入れてみた。



ミャンマー、インレー。  
昭和初期の香りプンプンな床屋。  
ちなみに、このインレー湖に行く時は、どの宿の満室なので、町のハズレのリメンバーインに泊  
まりましょう。ここは満室では無いよー。宿探しに3時間かかった.....。



インド、プシュカル。  
元美容師だったせいか、床屋に行くと止まって写真を撮ってしまう。  
ちなみに奥の男性に、全身マッサージをしないか？ とさそわれた。俺は男だけど.....どーせ、  
ケツや胸を揉まれるのがオチなので強く断った。



ネパール、バクタプル。  
お兄ちゃんのカットを見守る少女。



インド、デリー。  
店番の男の子。  
インドはスパイスが豊富。でもレストランでは、どれもこれもカレー味。



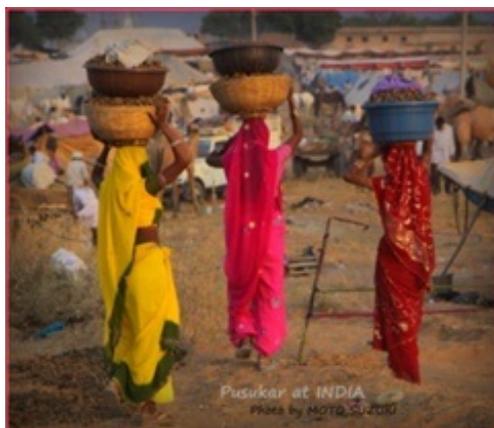
インド、バラナシ。  
店番の男性。後ろの鏡に自分が映らないようにするのがたいへんだった。



ミャンマー、バガン。

30円ほどのアイスを売るおじさん。

暑かったから助かった。



インド、プシュカル。

うんこを運ぶ女性達。



インド、デリー。

配線をなおしているインド人達。

4人も必要か？



インド、カジュラホー。

容器を一生懸命回収する女の子。



インド、アーグラ。  
雨季の為に川が氾濫してた。



インド、プシュカル。  
ラクダのうんこを集める少女。  
うんこはよく燃えるから、料理の時の火に使うのかな。  
この少女が……、  
ラクダのうんこがいっぱいに入った銀の器を持つとうと  
持ち上げた時、うんこがコロコロとこぼれた。  
その、こぼれたうんこを  
近くにいた男の子が拾い、自分のカゴに。  
そしたら、  
このうんこは私のよ！ と写真の女の子が食ってかかり、  
うんこを横取りした男の子と少女が喧嘩に。  
うんこ約7～10個をめぐる激しい喧嘩に発展。  
見かねた俺が、  
うんこを25個位拾ってきて2人に渡し、  
事なきを得ました。

## 二人旅のススめ

---

### 二人旅のススめ



夫婦で新婚旅行に出かけて半年ほど経つ。学生時代から一人旅ばかりしてきたが、二人で旅をしていて、「二人の旅もいいなあ」と思うことばかり……というわけでもないのだが、今回、二人旅について、感じたことを書き出してみようと思う。

まずは「二人旅のよさ」について。

#### 1、思い出を共有できる。

絶景に出会ったとき、美味しいものを食べたとき、身近にそれを共感できる人がいる。「この夕日、超きれい！」とか、「これうめーな！」とか、誰かと共有したくなるワタクシです。

面白い人に会ったとか、面白い経験をしたとかいうことも共有できるし、「あそこであんな人に会ったよねー」なんて思い出話がいつでもできるのがいい。もちろん、同じ体験をしても二人の感じ方が違って、一人だけ興奮してるなんてこともあるけど、それはそれで面白かったり……。

#### 2、セキュリティの向上。

一人より二人の方が、悪い人も声をかけにくく、ちょっかいを出しにくいはず。トイレに行っている間、荷物を見といてもらえるのも、地味に助かる。

#### 3、病気の時など、トラブル時に助けてもらえる。

風邪をひいて世話してもらった時は、ちょっとだけホレ直しました（笑）。

#### 4、交渉のあれこれ。

アメ役（たいてい私）とムチ役に別れて、ムチ役が「もっと安くできるでしょ！」という感じでキレ気味に交渉。アメ役がつまらないギャグでもかましながら、安くなるよう妥協価格を探るとうまくいく……ような気がする。

英語に自信のない私たちは、単純に耳が二人分あるというのも大きい（相方は私よりフィリピンなまりの英語のリスニングが得意である）。

#### 5、精神的に安定する（ケンカ中を除く）。

そもそも人見知りな私である。一人でいる時は遠慮（？）して、現地の人をお願いできないようなことでも、二人でいるという心強さのようなものから、図々しくも、現地人にいろいろ頼んだり、聞いたり、くだらないジョークを飛ばしたり……。

二人だと、トラブルに会った時のへこみ具合が少ない。

ふとした時に話し相手が近くにいる。一人旅の時と比べて独り言が減った。

## 6、経済的。

食事をシェアすれば、いろんな種類のものを食べられるし、二人でタクシーをシェアすれば、時としてバスや電車よりお得に移動することができる。また、特にドミトリーのない地域で部屋をシェアすれば宿泊費を節約できる。二人でドミトリーに泊まるよりダブル・ツインの方が安い場合もあるし.....。

## 7、分担できる。

宿探しや、交通手段の確保などを協力してやったり、石鹸やコンセントプラグ、パソコンなど荷物の一部を共用すれば、一人分の荷物・負担を減らすことができる。

人によっては、宿探しも移動手段の確保も全部自分でやらないと気が済まない！ っていう人もいるかもしれないけれど、だいたい以上のようなことが二人旅のいいところではないだろうか。

逆に、二人旅をしても「こんなことなら、一人の方がよかったなあ」と思うのは、ケンカの時（笑）。私たちはアベレージ一回／日、ケンカをしていると思う。後から考えてみたら、しょーもないことが原因のケンカが多い。ケンカをするとテンションが下がるし、体力も使うので、気を付けてはいるつもりなんだけど.....。ケンカするほど仲がいいという言葉が救いだ。

また、夫婦といえども、やりたい事とか行きたい場所が全く一緒ということはない（そろそろケリをつけたい我々の懸案はインドに行くか行かないか）ので、ある程度は気を遣う（あんまり実感ないけど、無意識に気を遣ってるところもあるはず！）し、行動が制限されてしまうということもある。誰にも気を遣わなくてよく、行きたいところへ行きたい時に行ける、というのは一人旅の特権だと思う。

多少の妥協をしつつも、二人で共有したり協力したりして旅する二人旅と、一人で全部やらないといけませんが自由な一人旅。どちらもそれぞれ違った楽しみ方があるだろうし、どちらがよいというわけではないけれど、半年ほど一緒に旅をしてみて、より深くお互いの考え方とか好みが変わってきたり、トラブルが発生してピンチな時に二人でどうしようかって、より上手に解決していけるようになってきたんじゃないかと思う。もちろんまだまだ発展途上ではあるけれど。このまま、これからも旅を通して、ちょっとずつでも夫婦として成長していけたらいいなあ.....（希望）。最近ケンカの仲直りも上手になってきたし.....。

そんなこんなで、二人旅の良さが書けたかどうか一抹の不安を覚えなくもないが、私は、たくさんの共通の思い出のできる二人旅を、特に夫婦でする二人旅をおすすめしたいと思う。色んなことが起こって、気の休まる間もない道中の私たちだけど、懲りずに次はネパールへ行こうと思う。



Hiro

28歳。新婚旅行で世界一周する……つもりだが、出発して半年経った今もまだ東南アジアに滞在中。出入国スタンプに世界の紙幣・コイン、「変な日本語」収集が趣味。この半年でやたらとビールにうるさくなった。南京虫とドリアンが苦手。



こんにちは。世界2周目中の大谷です。この原稿はヨーロッパのとあるド田舎で書いています。

「二人旅」について。

基本的に人と一緒に旅するのは得意ではありません。一人旅が一番面白いと考えています。

そんな私ですが「二人旅」の魅力を感じた事もたまにはあるのです。

本当は真実だけど皆が書きたがらない「単に一人だと不安。二人の方が心強い」「一人旅は寂しいので常に人と一緒にいい」「二人の方が安上がり」「異性と一緒にいた方がテンションが上がる」という内情には触れません。

「感動の共有」と言った自己啓発的な内容には触れません。

ある程度、まとも(?)な事を述べようと思います。

私が考える二人旅の魅力は「新しい旅価値観の発見」です。

例えば、アフリカのマーケットを二人で歩きます。それぞれの目に入ってくる情報が全く違って面白。

ある人はマーケットで売られている製品の品揃えの豊富さ、日本とは異なる製品、商品の異常な積み方等々、物理的な面で驚きます。(無駄に山積みになっている自動車の部品、ネジ、用途不明なガラクタ)

かたや製品の原産国、売り子の表情、売り場のロケーション等々、物事の背景を考えます。深い。

常に文化生活の裏にある歴史(つまり歴史的背景)を組もうとするその考えが新鮮。

この違いが二人旅。南スーダン・首都ジュバでの実際の話。

私は前者でした。猪突猛進タイプなせいか「表面的な」感想が目につきます。自分の思考の浅さにはいつも落胆します。

しかし、一緒に歩いた旅人(以下A)の考え方は後者。同じ時間、同じ場所を旅していても得られる情報、感情が全く異なります。

2011年に出来たばかりの新興国。日本人がイメージする「アフリカの貧困」を目の当たりにし、ザ・途上国のジュバのマーケット。

焼け野原にあるマーケットといっても過言ではない。舗装、区画整備などされていない「青空マーケット」。川の水を汲み、湧かして支給するチャイ屋。大雨が降れば氾濫すること間違い無しのビニールシートで覆われた店舗。

こういう「追いつめられた」感がある場所を旅すると、人の感覚は鋭くなるのでしょうか。いつも以上に集中して旅する事に。

上記環境下でのAの考え方。私はAの洞察力に驚きました。素直に「世の中には物事をこうやって捉える人もいるんだ」と。

多くの書物、講演、映像等で、数多の人の思考回路を学ぶ事は出来ます。しかし、一緒に同じ地を旅して得た知見がこうも違うと、頭をごつんと殴られた気分です。

「新しい旅価値観の発見」とは、まさにこういう場面。

私は旅を「レジャー」とは考えていません。せっかく社会人を辞めてまで長旅しているのだから「墮落的」な旅はしたくない。「リフレッシュ」な旅はしたくない。ただ「楽しかったー」という旅にはしたくない。

そんな思いから他の旅人の感覚が非常に気になる。

二人旅は良い意味で「刺激的」な訳です。

ジュバのマーケット見学が終わった後、お互いの写真を見せ合うのですが、それがまた面白い。人の感覚は十人十色。「え？ これって本当に同じ場所？」と目を疑うような違いが生じるのが魅力。

相手が撮った写真を見て「今後は自分も〇〇の観点で写真を撮ってみようかな？」とか「◎◎の立場で見学してみようかな」と刺激になる訳です。

具体的にはAの写真には売り子の表情が入っている。買い手の服装まで入っている。自分は「モノ」「風景」だけだ。



では、二人旅ではなくて三人、五人旅はどうか？ という話です。

私の個人的意見ですがそれは単なる「馴れ合い」。旅先で得られる「新しい旅価値観の発見」にはなかなか繋がらない。例えるならば「修学旅行」でしょうか。

皆さん「修学旅行の中身」って覚えていますか？

私は覚えていません。誰々と話したとか誰々と一緒だった程度です。覚えているのは集団から抜け出して一人で周った時の事だけです。

そうです。大勢で旅をすると今度は「内輪」での盛り上がり方が強くなる。旅の中身に踏み込めなくなる。集団で動くならせめて移動か外食程度。

そんなことを思います。

私自身常に自分の旅をいかに「深く、実りのある」ものにしようか考えながら進んでいます。

振り返ると「二人旅」は実りが多かったかな、と。旅先ほど相手の価値観を学ぶのに良い場所はないですから。包み隠す事無く、如実に現れます。

2014年1月より西アフリカ縦断が始まります。

旅行者数こそ少ない地域ですが、ルートは被りやすい。自分の旅の視野を広げるという意味でも少しくらいは「二人旅」しても良いかな、とも思います。

理想は、根本的な旅価値観が似ている奥さん見つけて一緒に周るの一番なのですが、そんな事言っていられないですね。

最後に。

基本的に一人旅に固執する私の旅です。かといって視野は狭くしたくない。旅して人間小さくなった、とは感じたくない。

そんな思いもあり、たまの「二人旅」の良さも綴りました。

皆様の「二人旅」が実りあるものになりますよう。

旅先から勝手に応援しています。

大谷 浩則

猪突猛進のトイレットパッカー。現在世界2周目！フィリピン留学からスタート。

旅のPodcast配信しています！

Podcast:ウィーリーのバックパッカーラジオ 世界一周アワー

<http://tabitabi-podcast.com/sekai1/>

Blog:ウィーリー 海外放浪×地球一周×フィリピン留学 ～実況！旅人アワー～

<http://ameblo.jp/hero23/>

Twitter:[@taniwheellie](https://twitter.com/taniwheellie)

## 一本の糸で世界をつなぐチャリの旅

---

### 一本の糸で世界をつなぐチャリの旅



旅のプロジェクトが遂に……！

功：すっかりおなじみとなっております（なっていると願います！）、功甫、儀高によるユーラシア大陸自転車横断の旅。

儀：僕たちはユーラシア大陸を自転車で旅しながら、ある1つのプロジェクトを実施してきました。

功：それは「一本の糸で世界の子どもをつなぐ」というもの。出発の地ポルトガルから、出会った子どもに、一本20cmの糸を手渡し、それを僕たちが運んできた前の子どもの糸の先に結んでつないでもらう。

儀：2人出会えば糸の長さは40cm。3人出会えば60cm。1人出会う度に、糸が20cmずつ伸びていく。



功：ポルトガルから31カ国、2万キロの旅路でつながった子どもは5003人。糸の長さは1kmになったのです！

儀：旅中に会った人々との話は、これから徐々にBraliのほうでも紹介させていただきますが、実は、このプロジェクト、旅で終了した……訳ではないのです!!

功：ええ。帰国後、お世話になった小学校で、「旅の帰国報告会」と題して講演会を実施しました。するとどうでしょう。話を聞いた子どもの顔はみるみる笑顔に、そして目はキラキラしてくるではないですか！

儀：そして先生から、「知り合いが隣の学校で先生をやっているから、ぜひそちらでも講演会をしてほしい！」とお願いされたのです！

功：こちらとしては断る理由がありません。そうして一年で30校ほどの学校で講演をやらせていただき、かつその度に学校の子どもを世界の繋がりに糸結びで加わってもらいました。

儀：そしたら、僕たちの中で、また1つ、大きな夢が生まれた。

功：日本中、世界中の子どもを糸でつないでやろうじゃないか!!

儀：そこで考えたのが、「どうしたらもっとみんなに活動を知ってもらえる?」「より大きくプロジェクトを展開するにはどうすればいい?」ということ。

功：行き着いた答えが「NPO法人化する」ということ。

儀：特定非営利活動法人=NPO法人は僕たちのプロジェクトにぴったりだと考えたのです!

功：そこから約1年。仲間探しが始まります。NPO法人化する為には10人の仲間が必要なのです。

儀：半年ほどかけ、志高い仲間を集め、大量の書類を作成し、そして何より大切なプロジェクトの理念を再度みんなで考えました。

功：そこで誕生したCoCの新しい理念が

「世界を1つの大きな家族にする」

というもの。

儀：将来を担う子どもが世界を感じ、糸とともに世界と繋がることで、彼らのマインドは大きく開け、世界に向け、自分のやりたいことに向かって、羽ばたいていける。

功：そして、そんな彼らが大人になり、世界を自ら旅し、国境、人種、宗教を越えて繋がり、世界を1つの大きな家族のように感じる事が出来たのなら、とっても素敵な、愛に満ちた世界になるんじゃないかと思うのです!

儀：ばかでかい夢だけど、ばかでかい夢だからこそ、ワクワクする。

功：そしてばかでかい夢だからこそ、これから沢山の人を巻き込んで、みんなで夢を追いかけていきたい! そんな無限の可能性を秘めたCoCの活動が、先月吉日にNPO法人化しました!!

儀：とはいえ、まだまだ試行錯誤の段階。どうしたらプロジェクトがより良いものになるか、日々みんなで知恵を絞っております。

功：糸つなぎに関しても、2人でつないできたものを、みんなでつなぐ形に展開していております。実はすでに!

儀：そうだね。おれと功甫で世界中全ての国をつなぎきるのは時間がかかる。それにせっかくなぐなら、もっとみんなでワクワクをシェアしながらやりたい!

功：だから、旅人に糸を託そうと思った。これから旅を始めようとする旅人に、始まりの糸を託し、それを持った旅人は、糸つなぎ隊員という肩書きをもち、世界に羽ばたく。そして行った先々で学校などを訪問し、糸をつなぎ、世界を見える形で繋ぐ。



儀：そんな旅人を世界中に沢山輩出し、帰国後、僕たちの持つ母糸につなぐ。そうして世界中が、沢山の旅人とともに、繋がっていく.....考えただけでもワクワクするぜー———!!



功：そんな訳で!! CoCでは一緒にプロジェクトを実施するアツイメンバーを募集しております!  
特にBraliをご覧になっている皆様のような旅好きを熱烈歓迎します! 一緒に世界を繋げましよう!!

儀：.....!! 告知きたーーーー! (笑) ここで告知ですか功甫はん。ま、いいか (笑)。

功：ははは (笑)。

儀：こんなわれわれですが、これからもみなさん、どうぞよろしくお願いします!

功：次回もお楽しみに!!



Connection of the Children

<http://coccoccoc.web.fc2.com>

<http://ad-f.sakura.ne.jp/html/coc/cal/>

田澤儀高

横浜国立大学大学院音楽教育専攻一年。ピアノと自転車旅が大好き。小さい頃からチャリで遠出するのが趣味。将来は学校の先生になって音楽の素晴らしさを子どもに伝えたい。そしてユーラシア横断の旅で感じてきたことも。

加藤功甫

横浜国大大学院保健体育科専攻。ユーラシア大陸を横断後、ロングディスタンストライアスロン世界選手権出場。人のため、地球のために。ワクワクすることを。一本の糸で世界の子どもをつなぐ旅プロジェクト企画中。

## 自炊派の手料理

---

旅に出たら現地の料理を食すに限る。でも物価の高い街での長めの滞在となると、さすがに外食ばかりはフトコロに堪える。そんな時は自炊。簡単で安くて美味しい自炊派の手料理をご紹介します。

### 「鶏肉のオレンジソースがけ」（1人分）

オレンジの甘みと酸味が食欲を誘う、お肉をさっぱり食べるのに最適レシピ。

#### 材料

- 鳥もも肉..... 1枚
- オレンジ..... 1個半くらい  
(搾って100ccくらいの果汁)
- ブロッコリー..... 1房
- プチトマト..... 3個
- ニンニク..... 2片
- オリーブオイル...大さじ3杯
- 砂糖..... 少々
- バター..... 少々  
(バターは無くても大丈夫)
- 塩コショウ..... 少々



#### 作り方

- ①鶏肉に塩コショウをまんべんなくふる。
- ②フライパンにオリーブオイルを入れて熱してから、鶏肉を皮目の方から焼いていきます。  
(皮がパリパリになるくらい焼くと美味しいです。)
- ③別の小さな鍋にオリーブオイルと刻んだニンニクを入れ香りが出るまで炒めます。
- ④ニンニクの香りが出たら、オレンジの果汁と砂糖を少々入れて煮詰めます。  
(砂糖は煮詰めた時にとろみを出すために入れます。)
- ⑤ソースにとろみが出てきたら、塩コショウで味を整えて鶏肉にかければ完成！！



\*オレンジを搾るのが面倒ならオレンジジュースでも代用できます。色々な肉で試してみましよう。

谷津 達観(やつ たっかん)

料理の道を歩んでいたが、突然夫婦で403日間、35ヶ国を周る世界一周の旅に！！

日本に帰ってきたかと思えば今度は仕事で香港在住決定！！

「家から徒歩一年☆たっかんとじんみの2人世界一周」

<http://ameblo.jp/worldjourney2010/>



沢井ブルース

旅する武術家 空手では国際大会優勝経験アリ

現在は東南アジアを中心に放浪及び武者修行中

ヘタクソな文章ではありますが、気楽に読んでもらってBraliの中の「箸休め」的な存在になれたらなーと思ってます

人生、酒と泪と旅と武術 梵我一如 覚有情

僕が泣く理由～タイランド編～

人はいつ泣くのだろう？ いつ涙を流すのだろう？

悲しいとき

嬉しいとき

悔しいとき

そして.....

本当に辛いものを食べた時！



事の発端は、僕のムエタイ(タイ式ボクシング)トレーナーとの会話だった。僕がトレーナーの故郷のウボン・ラチャタニーに滞在していた頃の話だ。

僕が

「タイ料理は大して辛くない」

と言った瞬間にトレーナーの顔色が変わった。

「お前にムエタイだけでなく、タイ料理も教えてやるよ」

と言われ、市場の中にある小汚い店に連れていかれた。

トレーナーは年期の入ったカウンターに肘をつきながら、店の親父に二言三言、タイ語で何かを伝えた。

白髪混じりのチョコ髭を生やした店の親父は僕をチラッと一瞥すると、奥の小さな鍋に「何か」を入れて、少しかき混ぜた後に「それ」をご飯と一緒に僕の前に静かに置いた。

出てきたものは一見すると普通のゲーン・ペツ(レッドカレー)だ。

トレーナーはニヤニヤと笑いながら僕を見ている。

色が真っ赤なのは気になったが、やっぱり普通のレッドカレーだ、大したことないな……余裕だな。

と、思った瞬間！ いきなり横っ面をビンタされたような刺激が襲う。

う！？・・・うぐががっ……！

かっ！ か ら い ！ カライ！ 辛い！ k a r a i ！

あまりの辛さに眼からは止めどなく涙が流れ出し、口は犬のように舌を出しながら開き、鼻水も垂れ、おまけに何故か後頭部がキーンと痛くなった。無理やりカレーを飲み込み、辛さを止めるためにガブガブと水を飲むが、辛さは止まらない。むしろ更に辛くなった様だ。

な……何なのだ？ これは？

これは食事というよりも危険物だ！

残りを無理やり食おうとするが、もはやコイツは辛いというより「痛い！」そして「熱い！」一口一口が溶岩の塊のようだ。

口から喉、喉から胃まで熱いものが通過していくのがわかる。

身体中がカアアッと暑くなり額から汗が止めどなく流れて、その汗が眼に入る。

涙と汗が混ざりぽたぽたと垂れ出して僕の顔はもうぐちゃぐちゃだ。体中の汗腺という汗腺からも汗がとめどなく噴出してくる。

しかし、そんなに汗だくなのに、後頭部は冷や汗で冷たくなってきた……。

僕は命の危険を感じ、そっとスプーンを置いた。

トレーナーは、そんな僕を見て勝ち誇ったような顔をしている。

サムライ精神で挑んだカレーだったが、結果は僕の完敗ーKO負けーでした。

おまけに、次の日はトイレで二度目の苦痛を味わう事に……。

恐るべし！ タイランド！

### Chibirock

Sigur RosとBeirut巔頂のメタル好きバックパッカー。チベット越えてインドで太って台湾の農家で大豆を選り分けたり。最近結婚したが放浪やめる気毛頭無し。

<http://blog.chibirock.net/>

【旅日記】 軽いお出かけ、疲労感10倍 《インド・アーメダバード編》

Braliのこの号が出るのも年の瀬であれば、ゴアで今回のこの旅日記をブログに書いたのも年の瀬。

奇遇です。さ、はじめますか。



ヒッピーの聖地とか何とか言われているゴアで、こんな生活を毎日しながら、年の瀬を感じろといわれても無理です。

「ちょっと、今日もう12月30日なんだけど！！」

「マジか！！」

と一瞬なんとなく焦る感じになりつつも、別段やることもないので、

「ま、チャイでも作るか」

の繰り返し、南インドのぐうたらな空気の中で、旅先で出会った仲間たちとぐうたら共同生活をはじめて、早数週間。

しかしインドはデカイ。

東京ドーム換算で何個になるかなんて、知りたくもないほどデカイ。

ジャパンコリアのプシュカルを出たのち（前月号参照）、エローラ遺跡そして一路南下して、今はかつてのヒッピーの聖地とか言われるゴアにいるけど、ここまでの道のりも実に長かった！

ひとまず途中地点アーメダバードまで。

この途中地点までが、まず16時間（寝台バス）。

次、エローラ、アジャンタ遺跡のあるアウランガバードまで更に15時間（寝台バス）。エローラ、アジャンタはとっても有名なので、ガイドブック等をご参照ください。

ここからゴアまでは、結果、20時間（寝台と言われてたのに実際は座席）。

今知ったけど、この5日、実に50時間近くバスに乗りまくってたことになる。それでもインドの左頬をかすめた程度しか動いてないのである。

しかも北～真ん中インドは今の時期、きちんと朝晩冷えるのに、一見立派な自称「デラックス

バス」でも、窓がガッチリ閉まりきることはまず無い。閉めても閉めてもチビチビ開いてくるので、ちょっと寝て起きたら身体が完全に冷えきっている。

よくもここまで冷えるほど寝てられたなと感心する。

窓が開かないエアコン付きバスは安心かと思いきや、乗客が皆、暖を取る為のありったけの防寒具と知恵を総動員させなけりゃ死ぬほどの冷房をかけやがる。

かけるというか、一定時間でかかったり切れたりするので、そういうシステムなのかもしれない。欧米人が文句言わず黙ってる訳もないし。

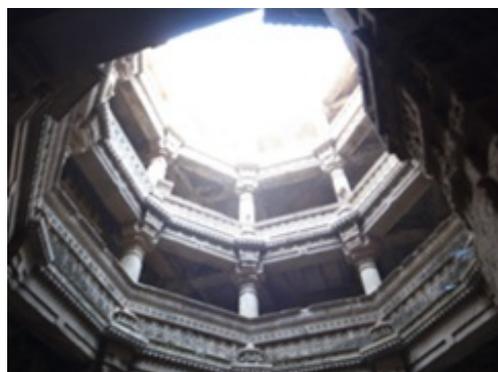
てかそんなシステム作る前に閉まり切る窓をつけれそこの乗務員！

自分も頭から毛布2枚かぶるくらいなら、どうにかして冷房を止めろ！！隣のスーダン人は防寒着も無くTシャツ1枚だぞ！必死で腕をTシャツの中に引っ込めて全力で死なないように耐えてるぞ！

とゆわけで、連日連夜の長時間拘束の苦痛に加えて、極寒地獄にも耐えて今のちびろっくがあるわけです。

アーメダバードには、いくつか見たいものがあるって、この階段井戸がそのうちの一つ。

アクセス最悪で、無駄に時間がある旅行者しか来れないが、デキはすごいきれいで、無料なのがちょいと申し訳ない。



これ、井戸内部。



これも井戸。

スーパー銭湯ならぬスーパー井戸だね。水くむ以外にも、なんとなくみんなたまる所みたいなの、コミュニケーションの場所として存在していたらしい。



これ、一緒に写真撮ってくれと頼まれた青年。きっとあたしは彼らの「ジャパニーズ・フレンド」として家族友人に見せびらかされるのであろう。

このスーパー井戸があるのはアーメダバードからバスで45分のガンディーナガル。

インドいち金持ちな街チャンディーガルに似てて、もう本来のインドには戻りたくなくなる整然ぶり！

しかし現実に戻らなければ、次の街へは進めないし、実際これ以上なにも無いので、またバスに乗ってしぶしぶアーメダバードへ。

と思ったら、アーメダバード行きのバスがくるはずの場所に、バスが来ない。

英語表記はないけど、3人に確認してここだと言われたのでたぶん場所はある。さすがのインド人もソワソワし始める。

(※) そんなピリピリしたところに、ものすごいスピードでバスが突っ込んで来た。

運転手は「お前らがお待ちかねのバスじゃないよ〜ん」と我々を一瞥して、走り寄る人間を振り切るように猛スピードでバス停の逆サイドへ走り去る。

(※) ×3回。

暑い。

疲れた。

めんどくさい。

なんで思わせぶりにうちの前通過していくんだアーメダバード行きじゃないバスの運ちゃんよ。

そのうち、1台が目の前で停まった途端、ソワソワしていた数十人が一気にバス入口に詰めかけた。インド人てそんなに速く走れるんだ！ 普段からもう少し急げよ！

そのうちの1人に、アーメダバード行くんだよねと伺うと、そうだと回答。

では遠慮なく、とインド人に見習って人をかき分け押しやりなんとか車内に潜り込む。

立ち位置を確保して、料金聴取に来た車掌にアーメダバードまで、と伝えると、大きく人差し指を横にふり、

「行かない」

でたよ。

いつもこう。ほんとめんどくさい。

そそくさとバスを降り、5分歩いてまたもとのバス乗り場へ。

(※) くり返し

もうインドやだ。

再度停まったバスに乗り込み、今度は運転手に直接、アーメダバードに行くのかと問うと、「勿論行くさ！」

と力強い回答。運転する本人が嘘をつくくらいなら、もう二度とアーメダバードには戻れないんだと諦めようと心を決めた。その赤い髪、かつてのハリウッド最高のスターラジニカーント（図1）みたいな運転手は、客が入り込まないように柵で囲われた自分の横の荷物置きスペースをバンと叩き、

「座んな！」

と言う。



※図1

痴漢とスリに怯えながらのギウギウの車内45分はキツイなと思ってたので、有り難く座らせてもらった。



おかげで見てるだけで息が詰まるような渋滞状況も一望。

周りの乗客も、車掌とのお金のやり取りを手伝ってくれたり、とかさ。

インドはいつもそうなんだよ。

めんどくせー、うぜー、ムカつくー、なんて思った矢先に、こうやってご機嫌とるみたいなタイミングで優しいことやってくるんだよ。日本の概念でいくとあり得なさすぎることばかりなのに、インドには毎回うまくやり込められる。

しかも相手は大抵、無邪気な親切心からやってるだけなので、文句のつけようもなく余計に悔しい。

「おっちゃん、ありがとう」

と降り際に声掛けた時の、ラジニカーントのウインク。  
ほんと、なんなんだろウインドってところは。

よいお年を。

## 作者・情報提供者一覧

---

### 【作者・情報提供者一覧】

旅人からの伝言 特集「モロッコ」 モロッコTIPSで情報いただいた方のTwitterID

[@viatortaka](#) [@sambo\\_anm](#) [@madoyan148](#) [@viatortaka](#) [@marchenosnos](#) [@cafebaghdad](#)

旅人からの伝言 特集「モロッコ」 モロッコTIPS 写真

旅人からの伝言 特集「モロッコ」 旅人からの写真で見る伝言 写真

夏目ひらら

別冊マーガレット系列で漫画を執筆。最近はいらん一人旅してきました。

単行本『後輩Aの告白』で、巻末にカンボジアで不良僧侶に出会った時のことを漫画にしています

。

<http://ameblo.jp/natsumehirara>

[@natsumehirara](#)

旅人からの伝言 特集「モロッコ」 モロッコTIPS 写真

旅人からの伝言 特集「モロッコ」 旅人からの写真で見る伝言 写真

マルシェノスノス

モロッコ・チュニジア雑貨&アラビア語雑貨のオンラインショップ「マルシェノスノス」です。

スーツケースで仕入れに行き、スーツケースでイベント出店へ行くノマドな雑貨屋。

日本で就職→モロッコで就職→ふらふら旅→ワーホリでパリ→帰国、しばし東京に定住。

アラビア語書道勉強中。親しみやすいアラブ人キャラを生み出し中。

shopsite : <http://nosnos.net>

twitter : [@marchenosnos](#)

facebook : <http://www.facebook.com/marchenosnos>

Brali Biz「旅」×「ビジネス」

橋本博司

特定非営利活動法人HERO 代表理事

東京都八王子市出身、35歳O型、人生のテーマは『旅するように働く』

大学時代にカンボジアに行き、そこで子どもたちに勉強を教えてほしいとせがまれた経験からカンボジアに学校を作ることを決意する。23歳で飲食店を経営(現在2店舗)。その後、1年間の世界一周新婚旅行に旅立つ。新卒採用の仕事を経て、2011年2月NPO法人HEROを立ち上げカンボジアに

子どもたちが無料で通える学校を現在までに5ヶ所建設。現在はカンボジアで学校建設の他に貧困

対策事業としてマイクロファイナンスならぬ、マイクロ養豚事業を開始。

。

<http://npo-hero.org/>

スタディツアー募集ページ

[http://www.facebook.com/l.php?u=http%3A%2F%2Fpsfnpj2012.jimdo.com%2F&h=\\_AQHpcqbw](http://www.facebook.com/l.php?u=http%3A%2F%2Fpsfnpj2012.jimdo.com%2F&h=_AQHpcqbw)

表紙写真

旅人からの伝言 特集「モロッコ」 モロッコTIPS 写真

旅人からの伝言 特集「モロッコ」 旅人からの写真で見る伝言 写真

エッセイ 旅ときどき・・・ 本文&写真

鈴木モト

男性 静岡県出身。高校時代、陸上でインターハイ出場。ベストタイム10秒84 (100M)

美容師免許、管理美容師免許取得。

MIXIコミュニティー、「鈴木が書く世界一周旅行記が好きだ」2800人突破。

[http://mixi.jp/view\\_community.pl?id=3502328](http://mixi.jp/view_community.pl?id=3502328)

現在、一眼レフカメラ片手に世界を放浪中。

ブログ「地球の迷い方。～世界放浪編～」

<http://ameblo.jp/roundtheworld200130/>

テーマ「ふたりたび」 本文 二人旅のススメ

変な日本語 写真

**Hiro**

28歳。新婚旅行で世界一周する……つもりだが、出発して半年経った今もまだ東南アジアに滞在中。出入国スタンプに世界の紙幣・コイン、「変な日本語」収集が趣味。この半年でやたらとビールにうるさくなった。南京虫とドリアンが苦手。

テーマ「ふたりたび」 本文 新しい旅価値観の発見

大谷 浩則

猪突猛進のトイレットパッカー。現在世界2周目！フィリピン留学からスタート。

旅のPodcast配信しています！

Podcast:ウィーリーのバックパッカーラジオ 世界一周アワー

<http://tabitabi-podcast.com/sekai1/>

Blog:ウィーリー 海外放浪×地球一周×フィリピン留学 ～実況！旅人アワー～

<http://ameblo.jp/hero23/>

Twitter:[@taniwheellie](https://twitter.com/taniwheellie)

一本の糸で世界をつなぐチャリの旅 本文&写真

Connection of the Children

<http://coccocococ.web.fc2.com>

<http://ad-f.sakura.ne.jp/html/coc/cal/>

田澤儀高

横浜国立大学大学院音楽教育専攻一年。ピアノと自転車旅が大好き。小さい頃からチャリで遠出するのが趣味。将来は学校の先生になって音楽の素晴らしさを子どもに伝えたい。そしてユーラシア横断の旅で感じてきたことも。

加藤功甫

横浜国大大学院保健体育科専攻。ユーラシア大陸を横断後、ロングディスタンストライアスロン世界選手権出場。人のため、地球のために。ワクワクすることを。一本の糸で世界の子どもをつなぐ旅プロジェクト企画中。

自炊派の手料理 本文&写真

谷津 達観(やつ たっかん)

料理の道を歩んでいたが、突然夫婦で403日間、35ヶ国を回る世界一周の旅に！！

日本に帰ってきたかと思えば今度は仕事で香港在住決定！！

「家から徒歩一年☆たっかんとじんみの2人世界一周」

<http://ameblo.jp/worldjourney2010/>

エッセイたびたべ 本文&写真

沢井ブルース

旅する武術家 空手では国際大会優勝経験アリ

現在は東南アジアを中心に放浪及び武者修行中

へたくソな文章ではありますが、気楽に読んでもらってBraliの中の「箸休め」的な存在になれたらなーと思ってます

人生、酒と泪と旅と武術 梵我一如 覚有情

アジア漂流日記 本文&写真

**Chibirock**

Sigur RosとBeirut巔頂のメタル好きバックパッカー。チベット越えてインドで太って台湾の農家で大豆を選り分けたり。最近結婚したが放浪やめる気毛頭無し。

<http://blog.chibirock.net/>

【協力】

向井通浩

JAPAN BACKPACKERS LINK 代表・運営管理者。「ハニートラップ研究所」所長。タイマッサージ依存症。ホワイト餃子。バックパッカー新聞編集長。

<http://backpackers-link.com>

<http://www.mag2.com/m/0001521550.html>

小田奉路

海外起業家's EGG主宰

<http://worldsegg.com/>

<http://archive.mag2.com/0001295311/index.html>

【広告】

カオサン東京ゲストハウス

<http://www.khaosan-tokyo.com/ja/>

**Maison D'hote Amande chez noriko**

<http://amandecheznoriko.web.fc2.com/>

### 【編集後記 Fistera】

今年ももうすぐ終わりですね。どんな年だったでしょう？やり残したことはないですか？来年はどんな年にしますか？どうしたいですか？

Braliはこのまま来年も変わらないでしょう。あ、もしかしたら縦ではなくて横レイアウトにするかもしれません。既存のマガジンと同じにすることないと思ったんで。読みやすいほうがいいでしょ。

それと旅企画もやりたいですね。旅あそびも旅しごともやっていきたいです。

では、良いお年を！

### ●公式サイト

<http://brali.net>

○Brali Job バックパッカーだって働きたい。帰国後のお仕事探しサイト

<http://job.brali.net>

○Brali情報ノート 安宿のリアルでナウな情報ノートをウェブ上でみんなで作ってみんなでシェアする

<http://note.brali.net>

○旅イベントや旅ブログなど旅に関する新情報や更新情報をビジュアルで告知するサイト

<http://event.brali.net/>

そして、Facebookページもやってます！ぜひとも「いいね！」してください。Twitterとは別の情報も掲載してますので。

<http://www.facebook.com/Bralimagazine>

さらには！NAVERまとめで旅に関することもまとめてますので、見てくださいね。

<http://matome.naver.jp/mymatome/kurinobu>

Brali Bizからセミナーを始める企画も準備中です。

「旅、インバウンド、アウトバウンド、海外」等のキーワードで独立や週末起業や副業など検討の方向けに、その方面の識者や経験者などを講師に迎え、セミナーを企画してます。

皆様のご感想などもお待ちしております。ちょっとしたメモ程度でもかまいませんので、感じたこと気づいたことなどお送りください。

mailto:bralimagazine@gmail.com

<http://brali.net/toukou>

次号予告（2014年2月25日発行予定）

---

次号予告（2014年2月25日発行予定）

- テーマ「海旅山旅」
- Brali Biz 「旅」×「ビジネス」
- HANGOVER in the WORLD
- 特集 トルコ
- エッセイ旅トキドキ・・・
- 一本の糸で世界をつなぐチャリの旅
- 自炊派の手料理
- エッセイたびたべ
- アジア漂流日記
- 旅先の変な日本語
- トホホな話
- 個人旅行のコモディティ
- （仮称）体験する旅

## 記事と情報および写真の募集要項

---

### 記事と情報および写真の募集要項

次回のBraliの発行予定は2014年2月25日です。

下記の記事や情報をお気軽にお寄せください。ご応募いただきました中から厳選して掲載させていただきます。

#### ★記事および情報

■特集 トルコ→2000字以内 ご存知ヨーロッパとアジアの架け橋トルコ。東西の文化の合流地点で多くの遺産や文化を楽しめる国。トルコの隠れた魅力や体験などをお伝え下さい。

■テーマ 「海旅山旅」→2000字以内 あなたはどっち派？サーフィン・スキューバ・リゾート・船旅などの海旅派か？それともトレッキング・大自然・絶景などの山旅派か？どちらかの魅力をお伝え下さい。

■（仮称）体験する旅 →Braliでは、観るだけや行くだけじゃなく体験する旅を推奨します。旅で体験したことを写真とともに記事にして送って下さい。例えばスペインでシェリーの注ぎ方マスター、インドで綿の収穫、モンゴルで羊の乳搾り、カナダでメイプルシロップ作り、海外日系企業で職業体験などなど。こんな体験してきたけど、どう？って教えてください。2000字以内。

■個人旅行のコモディティ →なんだかパック旅行でもないのに均一化する個人旅行。旅人の数だけ旅があるはずなのに、なんだかみんな同じ旅してない？「語学留学」、「世界一周」、「旅ブログランキング」のいずれかの内容であなたの考えを記事にしてお送りください。2000字以内。

#### ★写真

##### ■Brali表紙用写真

特集の地域で撮影された写真を募集します。

#### ★随時募集（掲載はいつになるかわかりません）

■旅で使えるデジタルアプリ →旅で役に立ったアプリを教えてください。

■HANGOVER in the WORLD →旅先での酒や酒場にまつわるショートコラムをお待ちしています。

■変な日本語→海外でよく目にする「変な日本語」。写真とどこで撮影したかを教えてください。

■海外支援団体などの団体さん、活動PRや支援募集などBraliに無料掲載いたします。取り組みなどのPRなどにご利用ください。

■海外ボランティアツアーや海外青年協力隊参加などの体験談を大募集しています。旅行では体験できないことや、秘話などをお待ちしています。

記事投稿および投稿に関するご質問はメールにてお願いします。

bralimagazine@gmail.com

投稿フォーム

<http://p.tl/Mi5K>

<http://bralimagazine.blogspot.jp/2011/11/blog-post.html>

奥付



Brali

●公式サイト

<http://brali.net>

○Brali Job バックパッカーだって働きたい。帰国後のお仕事探しサイト

<http://job.brali.net>

○Brali情報ノート 安宿のリアルでナウな情報ノートをウェブ上でみんなで作ってみんなでシェアする

<http://note.brali.net>

○Brali Circus イベントもブログの更新も旅に関することならなんでも拡散

<http://event.brali.net>

●Facebookページ

<http://www.facebook.com/Bralimagazine>

●NAVERまとめ

<http://matome.naver.jp/mymatome/kurinobu>

●mixiページ

<http://p.mixi.jp/brali>

●twitter

<https://twitter.com/bralinet> (Official)

<http://twitter.com/2moratorium>

## 【Braliの指針】

旅人は、旅をすることにより、その国や地域の人や文化に触れ、体験し、多様な価値観を知り、違いを理解し、享受することができます。

また旅に出てみることで、日本や居住地などの良し悪しや文化、社会、諸問題を見つめなおすきっかけになります。

そんな機会と経験を無駄にせず社会に活かす旅人の可能性を信じています。

旅人を増やし、旅に出る回数を増やし、旅に出る時間を増やすことを目的の一つとします。

そのためにも旅で得た情報や経験（インプット）を表現（アウトプット）する場と機会をメディアで提供し経験した人とは共有し、経験してない人へは追体験をしてもらいます。

また旅での経験を社会に活かす（例えば仕事や起業あるいは社会貢献やボランティアなど）仕組

みづくりを行ないBraliも社会に寄与します。

編集：くりはらのぶゆき、Team Brali

発行：くりはらのぶゆき